

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／
ブラジル・リアル・コース／
米ドル・コース／通貨セレクト・コース

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年間（2013年8月20日～2023年8月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」といいます。）の受益証券（円建）</p> <p>ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券（※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。</p> <p>「日本円・コース」の場合……日本円・クラス 「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス 「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル・クラス 「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス 「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス</p>
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当たり）を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合…300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合…350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合…400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合…450円 e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。</p>

運用報告書（全体版）

第24期（決算日 2019年8月28日）
第25期（決算日 2019年11月28日）
（作成対象期間 2019年5月29日～2019年11月28日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5770>
<5771>
<5772>
<5773>
<5774>

日本円・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期末(2017年8月28日)	10,546	300	2.7	14,842	1.1	—	97.4	564
17期末(2017年11月28日)	10,445	300	1.9	15,804	6.5	—	97.8	527
18期末(2018年2月28日)	10,700	350	5.8	16,672	5.5	0.0	97.8	432
19期末(2018年5月28日)	10,245	0	△ 4.3	16,532	△ 0.8	—	95.2	413
20期末(2018年8月28日)	10,512	300	5.5	17,598	6.4	—	97.9	423
21期末(2018年11月28日)	9,426	0	△ 10.3	16,294	△ 7.4	—	98.7	365
22期末(2019年2月28日)	10,127	0	7.4	16,964	4.1	—	95.5	381
23期末(2019年5月28日)	9,849	0	△ 2.7	17,169	1.2	—	94.9	328
24期末(2019年8月28日)	9,640	0	△ 2.1	17,430	1.5	—	95.4	311
25期末(2019年11月28日)	10,481	300	11.8	19,159	9.9	—	94.1	318

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

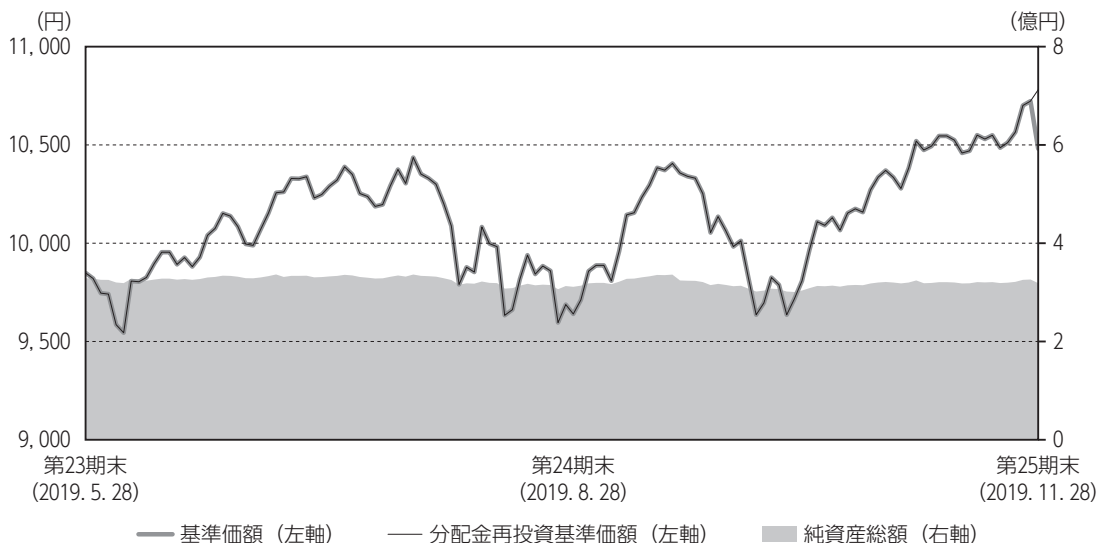
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第24期首：9,849円

第25期末：10,481円（既払分配金300円）

騰落率：9.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第24期	(期首) 2019年 5月28日	9,849	—	17,169	—	—	94.9
	5月末	9,741	△ 1.1	16,943	△ 1.3	—	98.0
	6月末	10,073	2.3	17,769	3.5	—	98.7
	7月末	10,331	4.9	18,305	6.6	—	98.2
	(期末) 2019年 8月28日	9,640	△ 2.1	17,430	1.5	—	95.4
第25期	(期首) 2019年 8月28日	9,640	—	17,430	—	—	95.4
	8月末	9,858	2.3	17,767	1.9	—	98.0
	9月末	9,983	3.6	17,993	3.2	—	98.8
	10月末	10,335	7.2	18,509	6.2	—	98.7
	(期末) 2019年11月28日	10,781	11.8	19,159	9.9	—	94.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中通商協議に対する懸念を受けて下落しました。しかし2019年6月以降は、米国が表明していたメキシコからの輸入品に対する制裁関税が回避されたことや、米国の利下げ期待が高まったことなどを受けて、上昇基調に転じました。8月には、米国が中国からの輸入製品に対する追加関税の拡大方針を示したことから米中貿易摩擦激化への懸念が強まり、下落する場面もありました。しかしその後は、米中貿易摩擦懸念の後退に加えて、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への懸念の後退などから、総じて堅調に推移しました。

■短期金利市況

日銀は、金融緩和策を継続し、短期金利はマイナス圏で推移しました。

米国では3回の利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは2.25~2.50%から1.50~1.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、MOODY'S CORP（金融）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

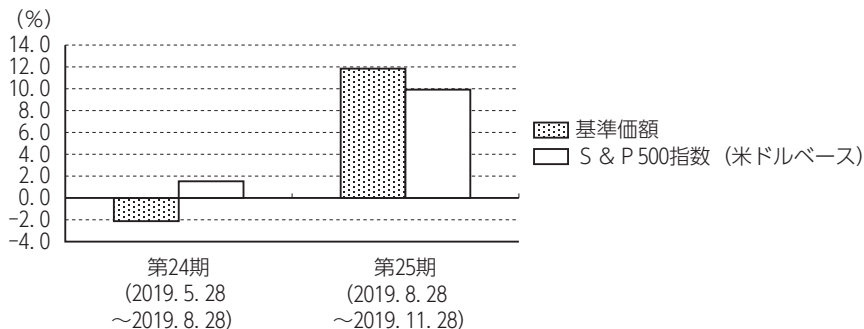
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。なお、第24期は基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第24期 2019年5月29日 ~2019年8月28日		第25期 2019年8月29日 ~2019年11月28日	
	金額	対基準価額比率 (%)	金額	対基準価額比率 (%)
当期分配金(税込み)	—	—	300	2.78
対基準価額比率 (%)	—	—	—	—
当期の収益 (円)	—	—	300	—
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	661	—	662	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	✓ 300.63
(c) 収益調整金	248.99	249.21
(d) 分配準備積立金	412.68	412.47
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	661.68	962.31
(f) 分配金	0.00	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	661.68	662.31

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第25期 (2019. 5. 29～2019. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,119円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	63	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

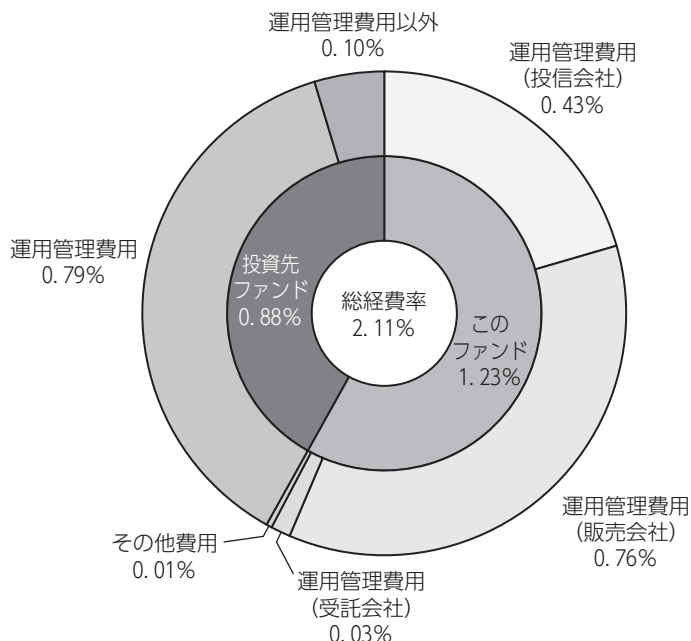
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.11%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

決算期	第24期～第25期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	128.84933	18,000	419.99223	62,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

第24期～				第25期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
	千口	千円			千口	千円	
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	128.84933	18,000	139	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	419.99223	62,000	147

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第25期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	1,929.78286	299,758	94.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第23期末		第25期末	
	□数	評価額	□数	評価額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	300	300	300	300

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月28日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	299,758	91.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	300	0.1
コール・ローン等、その他	28,773	8.7
投資信託財産総額	328,833	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月28日)、(2019年11月28日)現在

項 目	第24期末	第25期末
(A) 資産	312,240,690円	340,833,148円
コール・ローン等	15,071,819	16,773,465
投資信託受益証券(評価額)	296,868,088	299,758,961
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	300,783	300,723
未収入金	—	23,999,999
(B) 負債	1,003,460	22,118,543
未払金	—	12,000,000
未払収益分配金	—	9,122,999
未払信託報酬	996,738	982,260
その他未払費用	6,722	13,284
(C) 純資産総額(A-B)	311,237,230	318,714,605
元本	322,870,321	304,099,977
次期繰越損益金	△ 11,633,091	14,614,628
(D) 受益権総口数	322,870,321口	304,099,977口
1万口当り基準価額(C/D)	9,640円	10,481円

*第23期末における元本額は333,962,602円、当作成期間(第24期～第25期)中における追加設定元本額は7,486,507円、同解約元本額は37,349,132円です。

*第25期末の計算口数当りの純資産額は10,481円です。

■損益の状況

第24期 自 2019年5月29日 至 2019年8月28日
第25期 自 2019年8月29日 至 2019年11月28日

項 目	第24期	第25期
(A) 配当等収益	△ 898円	△ 710円
受取利息	19	30
支払利息	△ 917	△ 740
(B) 有価証券売買損益	△ 5,663,214	35,675,613
売買益	364,199	36,875,357
売買損	△ 6,027,413	△ 1,199,744
(C) 信託報酬等	△ 1,003,494	△ 988,825
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,667,606	34,686,078
(E) 前期繰越損益金	△ 7,143,379	△ 13,001,323
(F) 追加信託差損益金	2,177,894	2,052,872
(配当等相当額)	(8,039,391)	(7,578,509)
(売買損益相当額)	(△ 5,861,497)	(△ 5,525,637)
(G) 合計(D+E+F)	△ 11,633,091	23,737,627
(H) 収益分配金	—	△ 9,122,999
次期繰越損益金(G+H)	△ 11,633,091	14,614,628
追加信託差損益金	2,177,894	2,052,872
(配当等相当額)	(8,039,391)	(7,578,509)
(売買損益相当額)	(△ 5,861,497)	(△ 5,525,637)
分配準備積立金	13,324,395	12,562,496
繰越損益金	△ 27,135,380	△ 740

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	9,142,238
(c) 収益調整金	8,039,391	7,578,509
(d) 分配準備積立金	13,324,395	12,543,257
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	21,363,786	29,264,004
(f) 分配金	0	9,122,999
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	21,363,786	20,141,005
(h) 受益権総口数	322,870,321口	304,099,977口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第25期
	300円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

豪ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
16期末(2017年8月28日)	10,719	300	7.8	14,842	1.1	86.68	4.6	—	97.3	336
17期末(2017年11月28日)	10,406	300	△ 0.1	15,804	6.5	84.46	△ 2.6	—	98.0	296
18期末(2018年2月28日)	10,627	350	5.5	16,672	5.5	83.66	△ 0.9	0.0	98.0	290
19期末(2018年5月28日)	10,046	0	△ 5.5	16,532	△ 0.8	82.80	△ 1.0	—	95.5	265
20期末(2018年8月28日)	10,522	0	4.7	17,598	6.4	81.75	△ 1.3	—	96.0	265
21期末(2018年11月28日)	9,542	0	△ 9.3	16,294	△ 7.4	82.26	0.6	—	98.7	242
22期末(2019年2月28日)	9,930	0	4.1	16,964	4.1	79.34	△ 3.5	—	99.0	249
23期末(2019年5月28日)	9,260	0	△ 6.7	17,169	1.2	75.88	△ 4.4	—	95.6	203
24期末(2019年8月28日)	8,601	0	△ 7.1	17,430	1.5	71.38	△ 5.9	—	98.5	144
25期末(2019年11月28日)	9,985	0	16.1	19,159	9.9	74.00	3.7	—	95.4	145

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

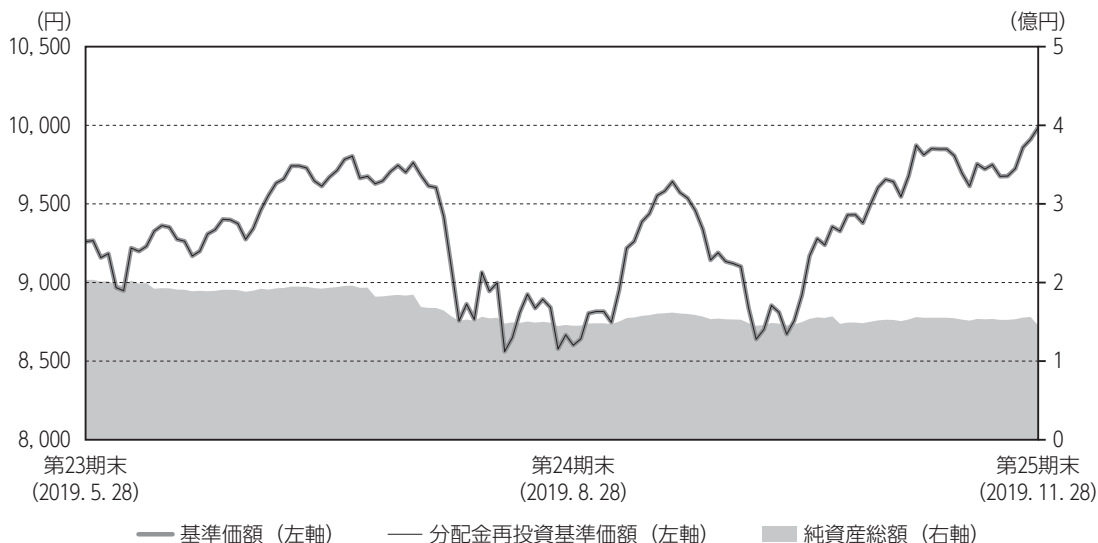
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第24期首：9,260円

第25期末：9,985円（既払分配金0円）

騰落率：7.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

豪ドルが対円で下落したことなどはマイナス要因となりましたが、米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第24期	(期首) 2019年 5月28日	9,260	—	17,169	—	75.88	—	—	95.6
	5月末	9,183	△ 0.8	16,943	△ 1.3	75.52	△ 0.5	—	98.0
	6月末	9,463	2.2	17,769	3.5	75.49	△ 0.5	—	97.2
	7月末	9,614	3.8	18,305	6.6	74.59	△ 1.7	—	99.0
	(期末) 2019年 8月28日	8,601	△ 7.1	17,430	1.5	71.38	△ 5.9	—	98.5
第25期	(期首) 2019年 8月28日	8,601	—	17,430	—	71.38	—	—	98.5
	8月末	8,804	2.4	17,767	1.9	71.58	0.3	—	98.8
	9月末	9,120	6.0	17,993	3.2	72.88	2.1	—	98.5
	10月末	9,641	12.1	18,509	6.2	75.28	5.5	—	98.6
	(期末) 2019年11月28日	9,985	16.1	19,159	9.9	74.00	3.7	—	95.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中通商協議に対する懸念を受けて下落しました。しかし2019年6月以降は、米国が表明していたメキシコからの輸入品に対する制裁関税が回避されたことや、米国の利下げ期待が高まったことなどを受けて、上昇基調に転じました。8月には、米国が中国からの輸入製品に対する追加関税の拡大方針を示したことから米中貿易摩擦激化への懸念が強まり、下落する場面もありました。しかしその後は、米中貿易摩擦懸念の後退に加えて、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への懸念の後退などから、総じて堅調に推移しました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2019年7月にかけては、総じてみ合い推移となりました。8月には、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率引き上げを表明したことなどを受けて市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。9月以降は、米中通商協議に対する懸念が後退したことに加えて、英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まったことなどから反発しました。当作成期末にかけては、オーストラリアの利下げ観測が高まったことなどから軟調に推移しました。

■短期金利市況

RBA（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を1.50%から0.75%に引き下げました。

米国では3回の利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは2.25~2.50%から1.50~1.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

■ US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■ 当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■ US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)

US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、MOODY'S CORP (金融) などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

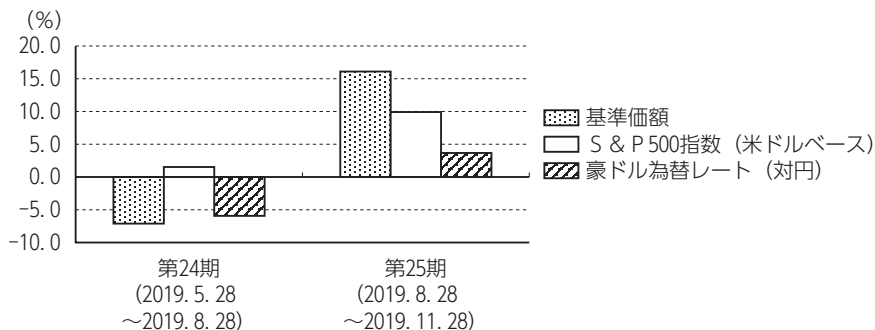
■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
	2019年5月29日 ~2019年8月28日	2019年8月29日 ~2019年11月28日
当期分配金（税込み） (円)	—	—
対基準価額比率 (%)	—	—
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	934	937

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第25期 (2019. 5. 29～2019. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,331円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	58	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

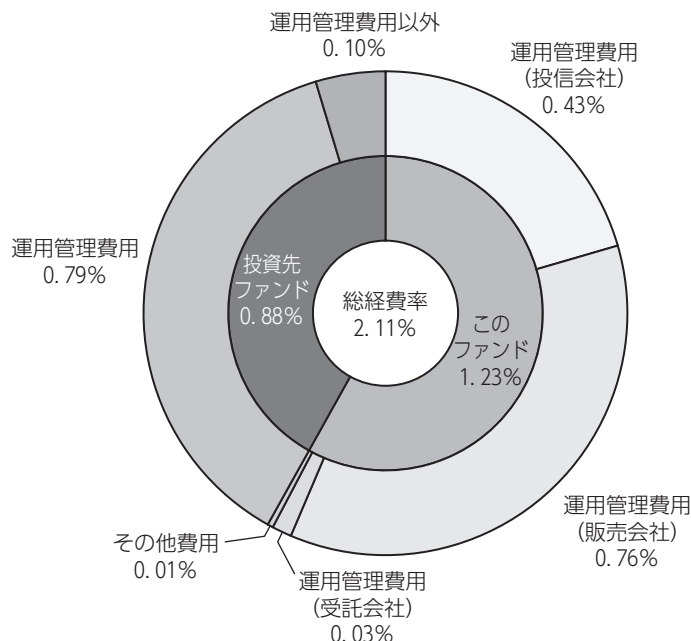
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.11%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

決算期	第24期～第25期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 44,97506	千円 5,038	千口 640,7267	千円 74,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

第24期				第25期			
銘柄	買付			銘柄	売付		
	□数	金額	平均単価		□数	金額	平均単価
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 44,64605	千円 5,000	円 111	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 640,7267	千円 74,000	円 115

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第25期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	千口 1,140,62141	千円 138,726	% 95.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第23期末	第25期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 200	千口 200	千円 201

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月28日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 138,726	% 87.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	201	0.1
コール・ローン等、その他	18,816	12.0
投資信託財産総額	157,744	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月28日)、(2019年11月28日)現在

項 目	第24期末	第25期末
(A) 資産	145,509,908円	169,744,644円
コール・ローン等	2,573,783	6,816,544
投資信託受益証券(評価額)	142,734,923	138,726,938
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	201,202	201,162
未収入金	—	24,000,000
(B) 負債	555,469	24,365,063
未払金	—	12,000,000
未払解約金	—	11,886,280
未払信託報酬	551,770	471,955
その他未払費用	3,699	6,828
(C) 純資産総額(A-B)	144,954,439	145,379,581
元本	168,529,248	145,604,889
次期繰越損益金	△ 23,574,809	△ 225,308
(D) 受益権総口数	168,529,248口	145,604,889口
1万口当り基準価額(C/D)	8,601円	9,985円

*第23期末における元本額は219,533,086円、当作成期間(第24期～第25期)中における追加設定元本額は92,076円、同解約元本額は74,020,273円です。

*第25期末の計算口数当りの純資産額は9,985円です。

*第25期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は225,308円です。

■損益の状況

第24期 自 2019年5月29日 至 2019年8月28日
第25期 自 2019年8月29日 至 2019年11月28日

項 目	第24期	第25期
(A) 配当等収益	△ 463円	35,757円
受取配当金	—	35,995
受取利息	66	13
支払利息	△ 529	△ 251
(B) 有価証券売買損益	△ 10,548,767	20,578,948
売買益	1,529,332	22,721,116
売買損	△ 12,078,099	△ 2,142,168
(C) 信託報酬等	△ 555,496	△ 475,084
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 11,104,726	20,139,621
(E) 前期繰越損益金	△ 14,110,716	△ 21,781,184
(F) 追加信託差損益金	1,640,633	1,416,255
(配当等相当額)	(7,867,516)	(6,798,638)
(売買損益相当額)	(△ 6,226,883)	(△ 5,382,383)
(G) 合計(D+E+F)	△ 23,574,809	△ 225,308
次期繰越損益金(G)	△ 23,574,809	△ 225,308
追加信託差損益金	1,640,633	1,416,255
(配当等相当額)	(7,867,516)	(6,798,638)
(売買損益相当額)	(△ 6,226,883)	(△ 5,382,383)
分配準備積立金	7,884,550	6,845,633
繰越損益金	△ 33,099,992	△ 8,487,196

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	34,934円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	7,867,516	6,798,638
(d) 分配準備積立金	7,884,550	6,810,699
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	15,752,066	13,644,271
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	15,752,066	13,644,271
(h) 受益権総口数	168,529,248口	145,604,889口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・リアル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
16期末(2017年8月28日)	10,483	300	6.8	14,842	1.1	34.53	1.1	—	97.4	800
17期末(2017年11月28日)	10,476	300	2.8	15,804	6.5	34.41	△ 0.3	—	97.8	725
18期末(2018年2月28日)	10,440	300	2.5	16,672	5.5	33.02	△ 4.0	0.0	97.8	686
19期末(2018年5月28日)	9,070	70	△ 12.5	16,532	△ 0.8	29.98	△ 9.2	—	98.6	477
20期末(2018年8月28日)	8,814	90	△ 1.8	17,598	6.4	27.24	△ 9.1	—	98.5	409
21期末(2018年11月28日)	8,513	60	△ 2.7	16,294	△ 7.4	29.35	7.7	—	98.4	341
22期末(2019年2月28日)	9,326	50	10.1	16,964	4.1	29.72	1.3	—	97.7	323
23期末(2019年5月28日)	8,322	50	△ 10.2	17,169	1.2	27.11	△ 8.8	—	97.4	276
24期末(2019年8月28日)	7,711	40	△ 6.9	17,430	1.5	25.59	△ 5.6	—	97.1	236
25期末(2019年11月28日)	8,788	40	14.5	19,159	9.9	25.68	0.4	—	98.6	292

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

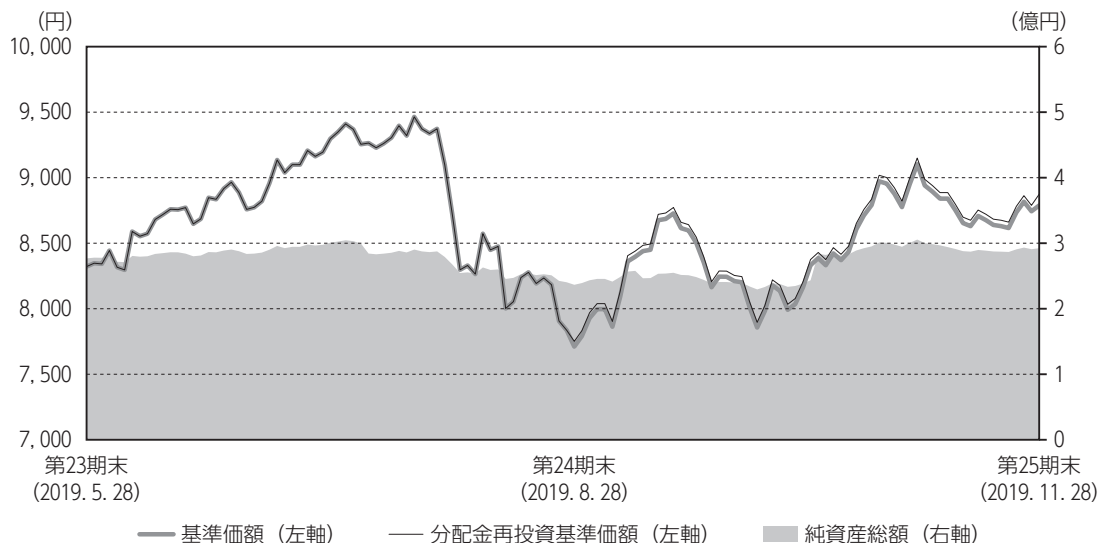
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第24期首：8,322円

第25期末：8,788円（既払分配金80円）

騰落率：6.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアルが対円で下落したことなどはマイナス要因となりましたが、米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第24期	(期首) 2019年 5月28日	8,322	—	17,169	—	27.11	—	—	97.4
	5月末	8,444	1.5	16,943	△ 1.3	27.45	1.3	—	95.5
	6月末	8,821	6.0	17,769	3.5	28.19	4.0	—	98.4
	7月末	9,337	12.2	18,305	6.6	28.65	5.7	—	98.8
	(期末) 2019年 8月28日	7,751	△ 6.9	17,430	1.5	25.59	△ 5.6	—	97.1
第25期	(期首) 2019年 8月28日	7,711	—	17,430	—	25.59	—	—	97.1
	8月末	7,928	2.8	17,767	1.9	25.52	△ 0.3	—	98.8
	9月末	8,211	6.5	17,993	3.2	25.95	1.4	—	99.1
	10月末	8,877	15.1	18,509	6.2	27.27	6.6	—	98.6
	(期末) 2019年11月28日	8,828	14.5	19,159	9.9	25.68	0.4	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中通商協議に対する懸念を受けて下落しました。しかし2019年6月以降は、米国が表明していたメキシコからの輸入品に対する制裁関税が回避されたことや、米国の利下げ期待が高まったことなどを受けて、上昇基調に転じました。8月には、米国が中国からの輸入製品に対する追加関税の拡大方針を示したことから米中貿易摩擦激化への懸念が強まり、下落する場面もありました。しかしその後は、米中貿易摩擦懸念の後退に加えて、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への懸念の後退などから、総じて堅調に推移しました。

■ 為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当作成期首から2019年7月にかけては、年金改革法案の成立期待の高まりなどから上昇しました。8月には、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率引き上げを表明したことなどを受けて市場のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。9月以降は、米中通商協議に対する懸念が後退したことなどから反発しました。当作成期末にかけては、ブラジル政府が実施した油田開発入札が期待外れの結果に終わったことを受けて、再び下落しました。

■ 短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を6.50%から5.00%に引き下げました。

米国では3回の利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは2.25~2.50%から1.50~1.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラ

ス)

■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■ 当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、MOODY'S CORP (金融)などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。

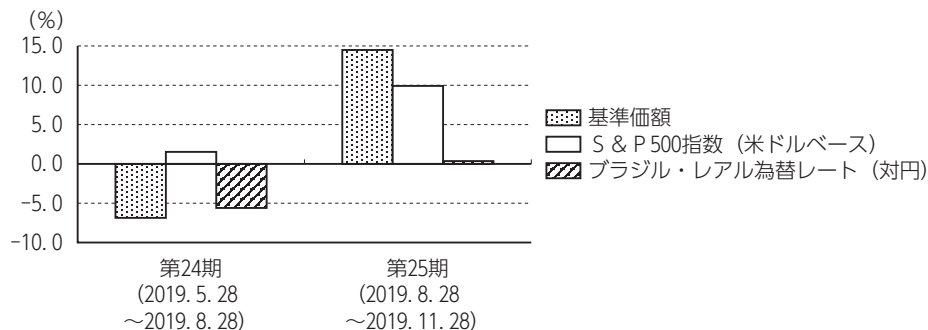
■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第24期	第25期
	2019年5月29日 ~2019年8月28日	2019年8月29日 ~2019年11月28日
当期分配金(税込み) (円)	40	40
対基準価額比率 (%)	0.52	0.45
当期の収益 (円)	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,989	3,021

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 53.24円	✓ 72.01円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,937.43	2,082.79
(d) 分配準備積立金	1,038.88	906.77
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,029.57	3,061.57
(f) 分配金	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,989.57	3,021.57

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第25期 (2019. 5. 29～2019. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	53円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,619円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

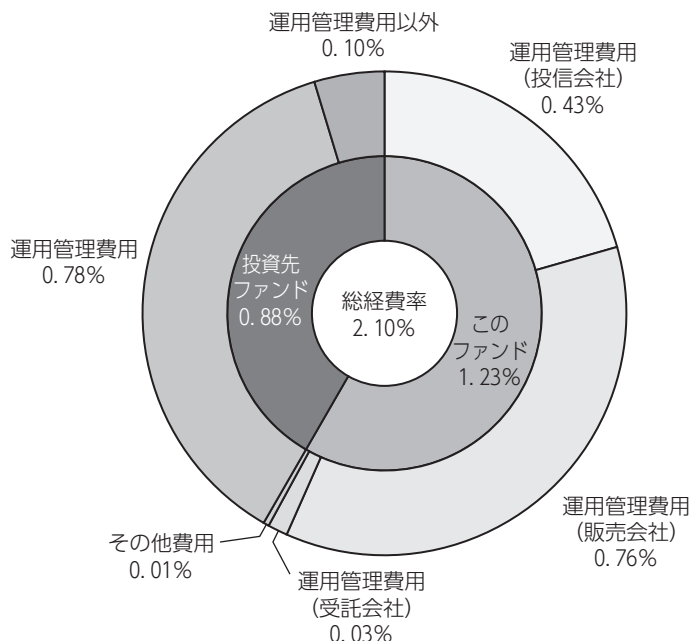
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.10%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.10%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

決算期	第24期～第25期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 585.379	千円 46,945	千口 537.4912	千円 45,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

第24期				～	第25期			
買付		平均単価		売付		平均単価		
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価	
US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 523.48653	千円 42,000	円 80	US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 537.4912	千円 45,000	円 83	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第25期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	千口 3,390.04654	千円 288,367	% 98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第23期末	第25期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 300	千口 300	千円 300

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月28日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 288,367	% 97.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	300	0.1
コール・ローン等、その他	5,841	2.0
投資信託財産総額	294,509	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月28日)、(2019年11月28日)現在

項目	第24期末	第25期末
(A) 資産	238,612,080円	294,509,647円
コール・ローン等	8,627,182	5,841,396
投資信託受益証券(評価額)	229,684,115	288,367,528
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	300,783	300,723
(B) 負債	2,084,347	2,165,334
未払収益分配金	1,226,969	1,330,580
未払解約金	—	874
未払信託報酬	851,635	822,653
その他未払費用	5,743	11,227
(C) 純資産総額(A-B)	236,527,733	292,344,313
元本	306,742,280	332,645,192
次期繰越損益金	△ 70,214,547	△ 40,300,879
(D) 受益権総口数	306,742,280口	332,645,192口
1万口当り基準価額(C/D)	7,711円	8,788円

*第23期末における元本額は332,588,615円、当作成期間(第24期~第25期)中における追加設定元本額は47,258,524円、同解約元本額は47,201,947円です。

*第25期末の計算口数当りの純資産額は8,788円です。

*第25期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は40,300,879円です。

■損益の状況

第24期 自 2019年5月29日 至 2019年8月28日
第25期 自 2019年8月29日 至 2019年11月28日

項目	第24期	第25期
(A) 配当等収益	2,490,823円	2,453,343円
受取配当金	2,491,604	2,453,781
受取利息	31	14
支払利息	△ 812	△ 452
(B) 有価証券売買損益	△ 19,164,447	32,708,390
売買益	1,577,486	34,173,877
売買損	△ 20,741,933	△ 1,465,487
(C) 信託報酬等	△ 857,425	△ 828,138
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 17,531,049	34,333,595
(E) 前期繰越損益金	△ 59,543,420	△ 73,181,831
(F) 追加信託差損益金	8,086,891	△ 122,063
(配当等相当額)	(59,429,435)	(69,283,096)
(売買損益相当額)	(△ 51,342,544)	(△ 69,405,159)
(G) 合計(D+E+F)	△ 68,987,578	△ 38,970,299
(H) 収益分配金	△ 1,226,969	△ 1,330,580
次期繰越損益金(G+H)	△ 70,214,547	△ 40,300,879
追加信託差損益金	8,086,891	△ 122,063
(配当等相当額)	(59,429,435)	(69,283,096)
(売買損益相当額)	(△ 51,342,544)	(△ 69,405,159)
分配準備積立金	32,273,478	31,228,265
繰越損益金	△ 110,574,916	△ 71,407,081

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,633,359円	2,395,508円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	59,429,435	69,283,096
(d) 分配準備積立金	31,867,088	30,163,337
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	92,929,882	101,841,941
(f) 分配金	1,226,969	1,330,580
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	91,702,913	100,511,361
(h) 受益権総口数	306,742,280口	332,645,192口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第24期	第25期
	40円	40円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

米ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期末(2017年8月28日)	10,716	350	1.2	16,573	△ 0.9	—	97.9	5,145
17期末(2017年11月28日)	10,792	350	4.0	17,953	8.3	—	97.7	4,840
18期末(2018年2月28日)	10,765	350	3.0	18,320	2.0	0.0	97.8	4,747
19期末(2018年5月28日)	10,229	300	△ 2.2	18,532	1.2	—	98.3	4,489
20期末(2018年8月28日)	10,728	300	7.8	20,033	8.1	—	98.1	4,708
21期末(2018年11月28日)	9,904	0	△ 7.7	18,976	△ 5.3	—	95.9	4,264
22期末(2019年2月28日)	10,471	0	5.7	19,249	1.4	—	95.7	4,100
23期末(2019年5月28日)	10,108	0	△ 3.5	19,253	0.0	—	95.3	3,480
24期末(2019年8月28日)	9,646	0	△ 4.6	18,861	△ 2.0	—	95.9	3,091
25期末(2019年11月28日)	10,852	350	16.1	21,449	13.7	—	98.1	3,230

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(円換算)は、S & P 500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

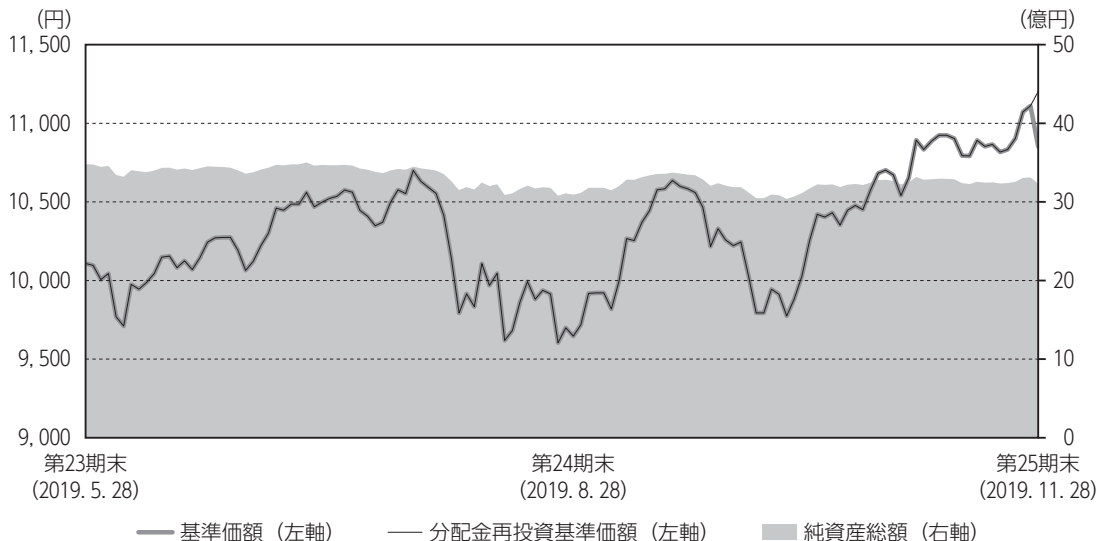
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第24期首：10,108円

第25期末：10,852円（既払分配金350円）

騰落率：10.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第24期	(期首) 2019年 5月28日	10,108	—	19,253	—	—	95.3
	5月末	10,044	△ 0.6	18,963	△ 1.5	—	98.2
	6月末	10,222	1.1	19,602	1.8	—	98.8
	7月末	10,592	4.8	20,353	5.7	—	98.9
	(期末) 2019年 8月28日	9,646	△ 4.6	18,861	△ 2.0	—	95.9
第25期	(期首) 2019年 8月28日	9,646	—	18,861	—	—	95.9
	8月末	9,918	2.8	19,358	2.6	—	98.8
	9月末	10,222	6.0	19,873	5.4	—	98.6
	10月末	10,671	10.6	20,625	9.4	—	98.7
	(期末) 2019年 11月28日	11,202	16.1	21,449	13.7	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中通商協議に対する懸念を受けて下落しました。しかし2019年6月以降は、米国が表明していたメキシコからの輸入品に対する制裁関税が回避されたことや、米国の利下げ期待が高まったことなどを受けて、上昇基調に転じました。8月には、米国が中国からの輸入製品に対する追加関税の拡大方針を示したことから米中貿易摩擦激化への懸念が強まり、下落する場面もありました。しかしその後は、米中貿易摩擦懸念の後退に加えて、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への懸念の後退などから、総じて堅調に推移しました。

■為替相場

米ドルは対円でおおむね横ばいとなりました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米中通商協議に対する懸念や米国の利下げ観測の高まりなどから下落しました。2019年8月には、米中貿易摩擦の激化がリスク回避の動きにつながったことから一段と下落しました。しかし9月以降は、米中貿易摩擦懸念の後退に加えて、英国のEU（欧州連合）離脱懸念の後退などを受けて、米ドルは反発する展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、MOODY'S CORP (金融)などを高位で組み入れました。

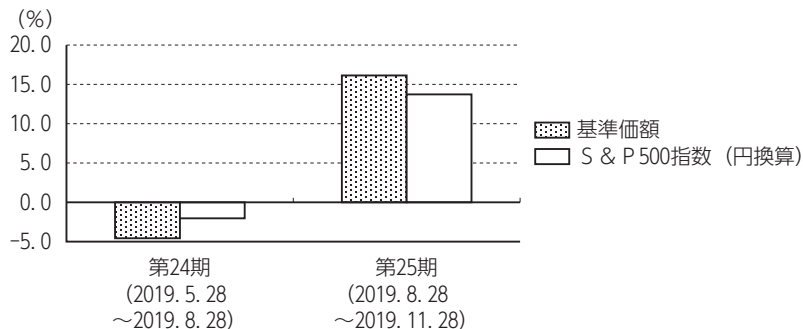
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。なお、第24期は基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第24期		第25期	
	2019年5月29日 ~2019年8月28日	(円)	2019年8月29日 ~2019年11月28日	(円)
当期分配金(税込み)	—		350	
対基準価額比率	—	(%)	3.12	
当期の収益	—	(円)	350	
当期の収益以外	—	(円)	—	
翌期繰越分配対象額	874	(円)	974	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期		第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	✓	23.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	✓	426.69
(c) 収益調整金	588.73		588.81
(d) 分配準備積立金	286.08		286.01
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	874.82		1,324.81
(f) 分配金	0.00		350.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	874.82		974.81

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第25期 (2019. 5. 29～2019. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	63円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,314円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	64	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

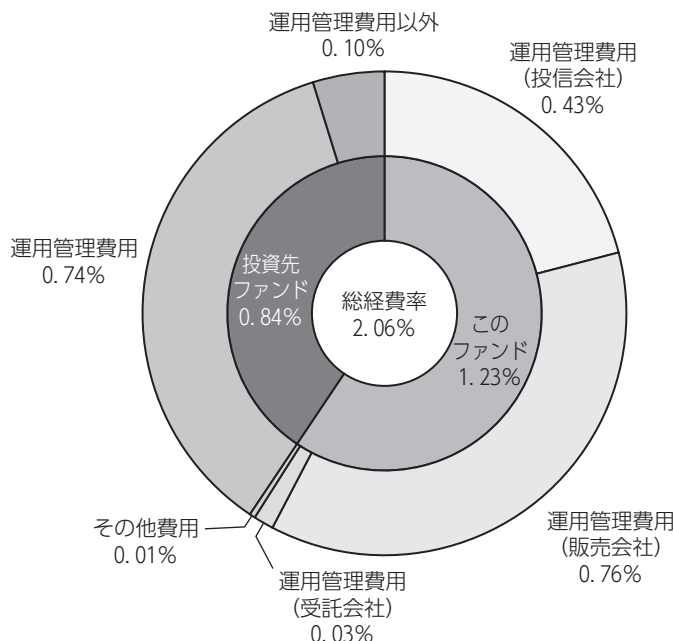
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.06%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

決算期	第24期～第25期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 1,438,62769	千円 225,168	千口 4,401,03449	千円 720,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

第24期				第25期				
銘柄	買付			平均単価	銘柄	売付		
	□数	金額	円			□数	金額	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,343,58292	千円 210,000	円 156	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	千口 4,401,03449	千円 720,000	円 163	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第25期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	千口 17,898,06305	千円 3,167,599	% 98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第23期末	第25期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 1,999	千口 1,999	千円 2,002

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月28日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 3,167,599	% 94.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	2,002	0.1
コール・ローン等、その他	184,584	5.5
投資信託財産総額	3,354,186	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月28日)、(2019年11月28日)現在

項 目	第24期末	第25期末
(A) 資産	3, 102, 999, 978円	3, 374, 186, 066円
コール・ローン等	136, 963, 630	164, 584, 693
投資信託受益証券 (評価額)	2, 964, 033, 773	3, 167, 599, 199
ダイワ・マネースtock・マザーファンド (評価額)	2, 002, 575	2, 002, 175
未収入金	—	39, 999, 999
(B) 負債	11, 271, 752	143, 880, 439
未払金	—	20, 000, 000
未払収益分配金	—	104, 185, 636
未払解約金	931, 072	9, 581, 502
未払信託報酬	10, 270, 988	9, 976, 524
その他未払費用	69, 692	136, 777
(C) 純資産総額 (A - B)	3, 091, 728, 226	3, 230, 305, 627
元本	3, 205, 196, 715	2, 976, 732, 460
次期繰越損益金	△ 113, 468, 489	253, 573, 167
(D) 受益権総口数	3, 205, 196, 715口	2, 976, 732, 460口
1万口当り基準価額 (C/D)	9, 646円	10, 852円

* 第23期末における元本額は3, 443, 152, 444円、当作成期間 (第24期~第25期) 中における追加設定元本額は1, 499, 074円、同解約元本額は467, 919, 058円です。

* 第25期末の計算口数当りの純資産額は10, 852円です。

■損益の状況

第24期 自 2019年5月29日 至 2019年8月28日
第25期 自 2019年8月29日 至 2019年11月28日

項 目	第24期	第25期
(A) 配当等収益	8, 042, 869円	7, 086, 292円
受取配当金	8, 050, 779	7, 092, 514
受取利息	221	332
支払利息	△ 8, 131	△ 6, 554
(B) 有価証券売買損益	△ 145, 811, 570	466, 067, 774
売買益	6, 365, 328	486, 067, 861
売買損	△ 152, 176, 898	△ 20, 000, 087
(C) 信託報酬等	△ 10, 341, 197	△ 10, 043, 634
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 148, 109, 898	463, 110, 432
(E) 前期繰越損益金	△ 114, 707, 335	△ 244, 021, 432
(F) 追加信託差損益金	149, 348, 744	138, 669, 803
(配当等相当額)	(188, 702, 238)	(175, 273, 784)
(売買損益相当額)	(△ 39, 353, 494)	(△ 36, 603, 981)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 113, 468, 489	357, 758, 803
(H) 収益分配金	—	△ 104, 185, 636
次期繰越損益金 (G + H)	△ 113, 468, 489	253, 573, 167
追加信託差損益金	149, 348, 744	138, 669, 803
(配当等相当額)	(188, 702, 238)	(175, 273, 784)
(売買損益相当額)	(△ 39, 353, 494)	(△ 36, 603, 981)
分配準備積立金	91, 696, 988	114, 903, 364
繰越損益金	△ 354, 514, 221	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	6, 935, 379円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	127, 014, 487
(c) 収益調整金	188, 702, 238	175, 273, 784
(d) 分配準備積立金	91, 696, 988	85, 139, 134
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	280, 399, 226	394, 362, 784
(f) 分配金	0	104, 185, 636
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	280, 399, 226	290, 177, 148
(h) 受益権総口数	3, 205, 196, 715口	2, 976, 732, 460口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第25期
	350円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
16期末(2017年8月28日)	円 8,941	円 140	% 3.6	14,842	% 1.1	% —	% 98.6	百万円 1,657
17期末(2017年11月28日)	8,964	130	1.7	15,804	6.5	—	98.3	1,497
18期末(2018年2月28日)	9,309	120	5.2	16,672	5.5	0.0	98.5	1,481
19期末(2018年5月28日)	8,303	100	△ 9.7	16,532	△ 0.8	—	98.8	1,239
20期末(2018年8月28日)	8,264	140	1.2	17,598	6.4	—	98.8	1,168
21期末(2018年11月28日)	7,700	140	△ 5.1	16,294	△ 7.4	—	98.7	1,059
22期末(2019年2月28日)	8,302	140	9.6	16,964	4.1	—	98.8	1,048
23期末(2019年5月28日)	7,827	150	△ 3.9	17,169	1.2	—	98.7	951
24期末(2019年8月28日)	7,405	140	△ 3.6	17,430	1.5	—	98.2	799
25期末(2019年11月28日)	8,689	120	19.0	19,159	9.9	—	98.8	896

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

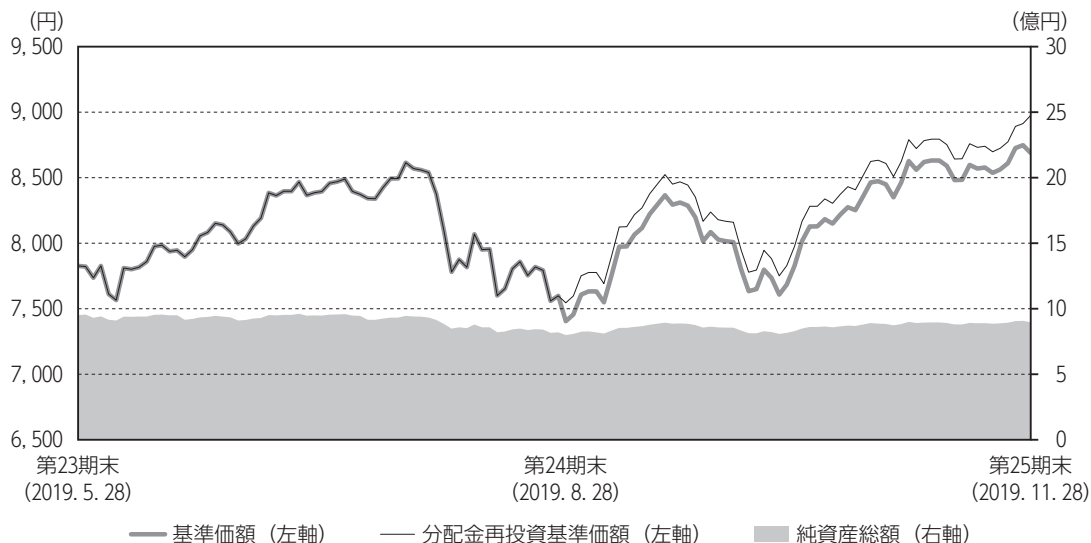
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第24期首：7,827円

第25期末：8,689円（既払分配金260円）

騰落率：14.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第24期	(期首) 2019年 5月28日	7,827	—	17,169	—	—	98.7
	5月末	7,827	0.0	16,943	△ 1.3	—	97.6
	6月末	8,131	3.9	17,769	3.5	—	97.8
	7月末	8,559	9.4	18,305	6.6	—	98.4
	(期末) 2019年 8月28日	7,545	△ 3.6	17,430	1.5	—	98.2
第25期	(期首) 2019年 8月28日	7,405	—	17,430	—	—	98.2
	8月末	7,607	2.7	17,767	1.9	—	97.9
	9月末	8,015	8.2	17,993	3.2	—	98.3
	10月末	8,449	14.1	18,509	6.2	—	98.8
	(期末) 2019年11月28日	8,809	19.0	19,159	9.9	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中通商協議に対する懸念を受けて下落しました。しかし2019年6月以降は、米国が表明していたメキシコからの輸入品に対する制裁関税が回避されたことや、米国の利下げ期待が高まったことなどを受けて、上昇基調に転じました。8月には、米国が中国からの輸入製品に対する追加関税の拡大方針を示したことから米中貿易摩擦激化への懸念が強まり、下落する場面もありました。しかしその後は、米中貿易摩擦懸念の後退に加えて、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱への懸念の後退などから、総じて堅調に推移しました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期首から2019年7月末にかけては、個別国の材料に左右されつつ、選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。特に、対米関係悪化の懸念が後退したトルコ・リラが上昇した一方で、米国からの追加関税が懸念されたメキシコ・ペソは対円で下落しました。8月に入ると、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから、選定通貨は対円で下落しました。しかし9月以降は、米中貿易摩擦への懸念が後退し、選定通貨は対円で上昇しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、メキシコ・ペソ、ルーマニア・レイは対円で下落しました。一方、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、フィリピン・ペソは対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では3回の利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは2.25~2.50%から1.50~1.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を行います。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 29 ~ 2019. 11. 28)

■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、

企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS（一般消費財・サービス）、MOODY'S CORP（金融）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

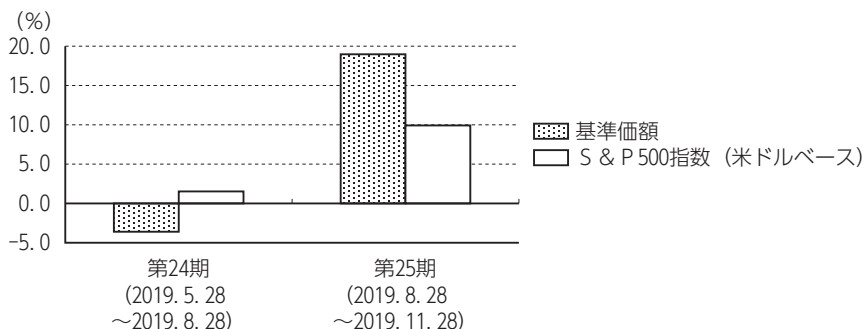
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期 2019年5月29日 ～2019年8月28日		第25期 2019年8月29日 ～2019年11月28日	
	当期分配金（税込み） (円)	140	120	120
対基準価額比率 (%)	1.86	1.86	1.36	1.36
当期の収益 (円)	140	140	120	120
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,242	2,242	2,260	2,260

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 155.56円	✓ 137.62円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	207.38	215.74
(d) 分配準備積立金	2,019.49	2,026.69
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,382.44	2,380.06
(f) 分配金	140.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,242.44	2,260.06

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第25期 (2019. 5. 29～2019. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,135円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	50	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

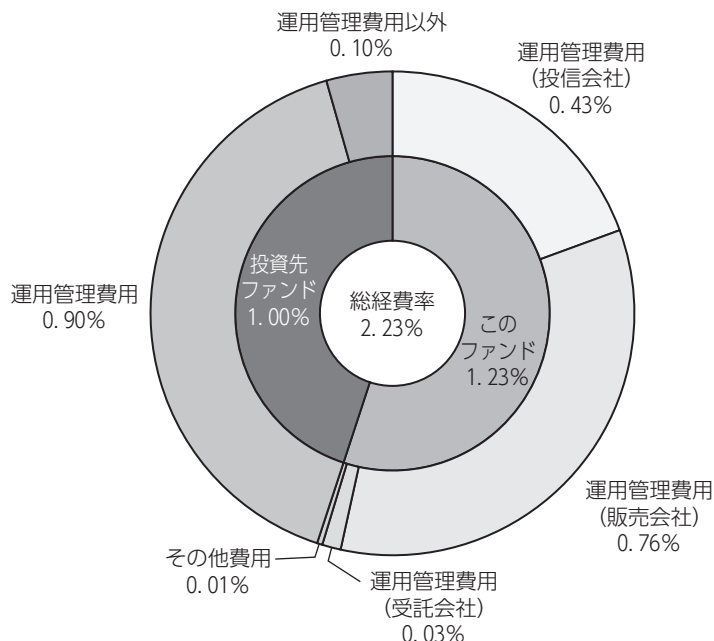
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.23%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.90%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

決算期	第24期～第25期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	448.1129	34,141	2,294.88263	180,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年5月29日から2019年11月28日まで)

銘柄	第24期			第25期		
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	2,294.88263	180,000	78			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第25期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	10,439.01996	886,022	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第23期末	第25期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	505	505	506

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月28日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	886,022	96.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	506	0.1
コール・ローン等、その他	29,964	3.2
投資信託財産総額	916,493	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月28日)、(2019年11月28日)現在

項目	第24期末	第25期末
(A) 資産	816,995,909円	916,493,171円
コール・ローン等	31,605,256	29,964,255
投資信託受益証券(評価額)	784,883,893	886,022,258
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	506,760	506,658
(B) 負債	17,925,427	19,521,479
未払収益分配金	15,107,226	12,388,208
未払解約金	759	4,428,357
未払信託報酬	2,798,477	2,668,005
その他未払費用	18,965	36,909
(C) 純資産総額(A-B)	799,070,482	896,971,692
元本	1,079,087,584	1,032,350,689
次期繰越損益金	△ 280,017,102	△ 135,378,997
(D) 受益権総口数	1,079,087,584口	1,032,350,689口
1万口当り基準価額(C/D)	7,405円	8,689円

*第23期末における元本額は1,215,326,534円、当作成期間(第24期~第25期)中における追加設定元本額は10,417,231円、同解約元本額は193,393,076円です。

*第25期末の計算口数当りの純資産額は8,689円です。

*第25期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は135,378,997円です。

■損益の状況

第24期 自 2019年5月29日 至 2019年8月28日
第25期 自 2019年8月29日 至 2019年11月28日

項目	第24期	第25期
(A) 配当等収益	19,604,512円	14,470,864円
受取配当金	19,607,421	14,472,985
受取利息	156	70
支払利息	△ 3,065	△ 2,191
(B) 有価証券売買損益	△ 47,259,235	133,103,834
売買益	3,553,700	136,575,641
売買損	△ 50,812,935	△ 3,471,807
(C) 信託報酬等	△ 2,817,644	△ 2,685,960
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 30,472,367	144,888,738
(E) 前期繰越損益金	△ 229,778,794	△ 262,349,545
(F) 追加信託差損益金	△ 4,658,715	△ 5,529,982
(配当等相当額)	(22,378,338)	(22,272,709)
(売買損益相当額)	(△ 27,037,053)	(△ 27,802,691)
(G) 合計(D+E+F)	△ 264,909,876	△ 122,990,789
(H) 収益分配金	△ 15,107,226	△ 12,388,208
次期繰越損益金(G+H)	△ 280,017,102	△ 135,378,997
追加信託差損益金	△ 4,658,715	△ 5,529,982
(配当等相当額)	(22,378,338)	(22,272,709)
(売買損益相当額)	(△ 27,037,053)	(△ 27,802,691)
分配準備積立金	219,600,904	211,045,330
繰越損益金	△ 494,959,291	△ 340,894,345

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	16,786,794円	14,207,313円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	22,378,338	22,272,709
(d) 分配準備積立金	217,921,336	209,226,225
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	257,086,468	245,706,247
(f) 分配金	15,107,226	12,388,208
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	241,979,242	233,318,039
(h) 受益権総口数	1,079,087,584口	1,032,350,689口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第24期	第25期
	140円	120円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年11月28日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2019年5月31日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$43,492,375）	\$ 45,882,782
現金	3,610
外国為替先渡契約による評価益	222,599
未収：	
配当	11,937
資産合計	46,120,928
負債	
外国為替先渡契約による評価損	56,093
未払：	
償還済み受益証券	227,699
専門家報酬	54,636
運用会社報酬	23,967
会計および管理会社報酬	3,875
保管会社報酬	3,673
為替運用会社報酬	1,322
名義書換代理人報酬	897
為替取引執行会社報酬	345
負債合計	372,507
純資産	\$ 45,748,421
純資産	
豪ドル・クラス	\$ 1,777,092
ブラジル・レアル・クラス	2,436,361
通貨セレクト・クラス	8,224,336
日本円・クラス	2,888,033
米ドル・クラス	30,422,599
	\$ 45,748,421

発行済み受益証券口数

豪ドル・クラス	1,781,019
ブラジル・リアル・クラス	3,281,092
通貨セレクト・クラス	12,023,842
日本円・クラス	2,292,262
米ドル・クラス	21,489,223

受益証券1口当り純資産額

豪ドル・クラス	\$	0.998
ブラジル・リアル・クラス	\$	0.743
通貨セレクト・クラス	\$	0.684
日本円・クラス	\$	1.260
米ドル・クラス	\$	1.416

損益計算書

2019年5月31日に終了した年度

投資収益

配当収益（源泉税 \$198,075控除後）	\$	462,103
その他収益		37,324
投資収益合計		499,427

費用

運用会社報酬		325,073
専門家報酬		56,906
会計および管理会社報酬		42,939
保管会社報酬		27,835
為替運用会社報酬		17,158
受託会社報酬		15,807
名義書換代理人報酬		10,827
為替取引執行会社報酬		1,840
登録料		780
費用合計		499,165

投資純利益

262

実現利益（損）および評価益（損）：

実現利益（損）：

証券投資		4,425,203
外国為替取引および外国為替先渡契約		(791,215)
純実現利益		3,633,988

評価益（損）の純変動：

証券投資		(3,673,897)
外国為替換算および外国為替先渡契約		192,433
評価益（損）の純変動		(3,481,464)

純実現・純評価益

152,524

運用による純資産の純増

\$ 152,786

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

(米ドル建て)

投資明細表
2019年5月31日

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
	普通株 (94.4%)		
	英国 (3.4%)		
	ヘルスケア製品 (3.4%)		
21,779	LivaNova PLC	\$	1,565,910
	英国合計 (簿価 \$1,907,956)		1,565,910
	米国 (91.0%)		
	自動車 (4.3%)		
58,825	General Motors Co.		1,961,225
	自動車部品 (3.2%)		
12,325	Lear Corp.		1,467,045
	銀行 (7.7%)		
59,075	Bank of America Corp.		1,571,395
31,165	Citigroup, Inc.		1,936,905
			3,508,300
	バイオテクノロジー (2.6%)		
3,965	Regeneron Pharmaceuticals, Inc.		1,196,320
	商業サービス (6.2%)		
15,583	Moody's Corp.		2,849,819
	総合金融サービス (3.6%)		
39,770	Charles Schwab Corp.		1,654,830
	食品 (4.4%)		
19,075	Post Holdings, Inc.		2,004,783
	ヘルスケアサービス (2.3%)		
8,540	HCA Healthcare, Inc.		1,032,998
	保険 (6.0%)		
53,360	American International Group, Inc.		2,725,095
	インターネット (21.8%)		
3,600	Alphabet, Inc. Class C		3,973,068
1,467	Booking Holdings, Inc.		2,429,675
8,300	Facebook, Inc. Class A		1,473,001
6,160	Netflix, Inc.		2,114,605
			9,990,349
	宿泊施設 (7.3%)		
37,064	Hilton Worldwide Holdings, Inc.		3,315,004
	建設機械・鉱山機械 (1.8%)		
6,765	Caterpillar, Inc.		810,515
	メディア (9.4%)		
8,259	Charter Communications, Inc. Class A		3,111,991
29,390	Comcast Corp. Class A		1,204,990
			4,316,981
	その他製造 (2.4%)		
116,201	General Electric Co.		1,096,937

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
67,985	石油・ガス (1.2%) Centennial Resource Development, Inc. Class A		537,081
33,295	石油・ガスサービス (1.5%) National Oilwell Varco, Inc.		694,201
53,290	不動産 (5.3%) CBRE Group, Inc. Class A		2,435,353
	米国合計 (簿価 \$38,864,383)		41,596,836
	普通株合計 (簿価 \$40,772,339)		43,162,746
元本	短期運用 (5.9%) 米国 (5.9%) 定期預金 (5.9%) JP Morgan Chase & Co.		
\$2,720,036	1.64% due 2019/6/3		\$ 2,720,036
	定期預金合計		2,720,036
	米国合計 (簿価 \$2,720,036)		2,720,036
	短期運用合計 (簿価 \$2,720,036)		2,720,036
	投資総額 (簿価 \$43,492,375)	100.3%	\$ 45,882,782
	現金および他の資産を超過する負債	(0.3)	(134,361)
	純資産	100.0%	\$ 45,748,421

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2019年5月31日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
AUD	Citibank N. A.	2,566,401	2019/6/20	USD	1,802,675	\$ -	\$ (23,606)	\$ (23,606)

2019年5月31日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
BRL	Citibank N. A.	9,690,947	2019/6/20	USD	2,452,544	\$ 19,319	\$ -	\$ 19,319

2019年5月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
IDR	Citibank N. A.	18,669,230,397	2019/6/20	USD	1,289,051	\$ 16,286	\$ -	\$ 16,286
INR	Citibank N. A.	93,215,208	2019/6/20	USD	1,330,552	4,647	-	4,647
MXN	Citibank N. A.	25,821,885	2019/6/20	USD	1,345,273	-	(32,487)	(32,487)
PHP	Citibank N. A.	67,547,892	2019/6/20	USD	1,290,251	3,117	-	3,117
RUB	Citibank N. A.	84,917,726	2019/6/20	USD	1,297,086	3,398	-	3,398
TRY	Citibank N. A.	10,519,386	2019/6/20	USD	1,646,104	140,910	-	140,910
						\$ 168,358	\$ (32,487)	\$ 135,871

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

2019年5月31日現在の日本円・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
J P Y	Citibank N. A.	318,187,150	2019/6/20	U S D	2,899,442	\$ 34,922	\$ -	\$ 34,922

通貨の略称

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・レアル
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
J P Y	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
PHP	-	フィリピン・ペソ
RUB	-	ロシア・ルーブル
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイII– 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第25期の決算日（2019年11月28日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年5月29日～2019年11月28日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2019年11月28日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

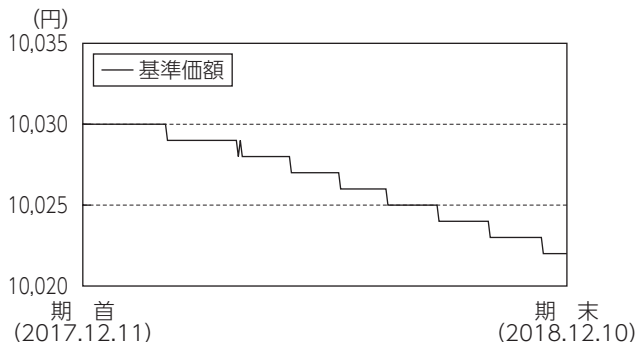
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2017年12月11日	円	%	%
	10,030	-	-
12月末	10,030	0.0	-
2018年1月末	10,030	0.0	-
2月末	10,029	△0.0	0.5
3月末	10,029	△0.0	-
4月末	10,028	△0.0	-
5月末	10,027	△0.0	-
6月末	10,026	△0.0	-
7月末	10,025	△0.0	-
8月末	10,025	△0.0	-
9月末	10,024	△0.1	-
10月末	10,023	△0.1	-
11月末	10,022	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	570,003	(570,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘	柄	金 額	柄
		千円	千円
723	国庫短期証券 2018/3/5	220,001	
757	国庫短期証券 2018/8/13	200,001	
731	国庫短期証券 2018/7/10	150,000	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は四捨五入してあります。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	41,081,960	100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	41,081,960,031円
コール・ローン等	41,081,960,031
(B) 負債	22,652,366
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
(C) 純資産総額(A - B)	41,059,307,665
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
(D) 受益権総口数	40,969,233,796口
1万口当り基準価額(C/D)	10,022円

* 期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド(インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国アソシエイト・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国アソシエイト・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国アソシエイト・インド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U.S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、U.S短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 9,976,058円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信-TOPIXレバレッジ(2倍) 指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信-TOPIXダブルインバース(-2倍) 指数602,505,046円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信-TOPIXインバース(-1倍) 指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ日本株式ベア・ファン

ド(適格機関投資家専用) 3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 199,401,795円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S.L.トレード - 56,086,003円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音(つちおと) - 5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセア・内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワU.S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項	目	当	期
(A)	配当等収益	△	21,014,406円
	受取利息		30,196
	支払利息	△	21,044,602
(B)	有価証券売買損益	△	2
	売買損	△	2
(C)	その他費用	△	16,468,861
(D)	当期損益金(A + B + C)	△	37,483,269
(E)	前期繰越損益金		91,400,424
(F)	解約差損益金	△	184,462,233
(G)	追加信託差損益金		220,618,947
(H)	合計(D + E + F + G)		90,073,869
	次期繰越損益金(H)		90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。